

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要（加古川市）

中学3年生および義務教育学校 9年生 理科

1 結果の概要

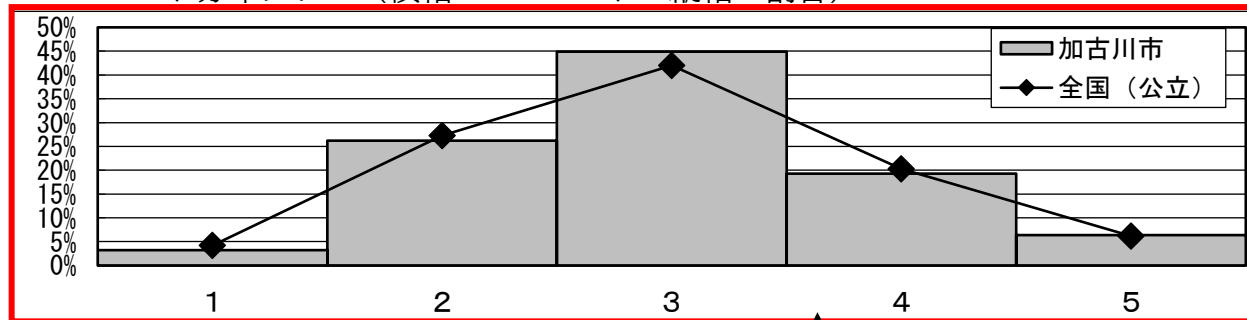
- ・「生命」を柱とする領域で、スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる問題に、成果がみられました。
- ・「粒子」を柱とする領域で、身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる問題に、課題がみられました。
- ・平均 IRT スコアが全国より高くなっています。
- ・IRT バンドに占める生徒の割合では、基準となる3と、それより高い4・5に占める生徒の合計割合が、全国より高くなっています。

※中学校理科は、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示しています。

2 IRT スコア集計値

	平均 IRT スコア	標準偏差	※IRT スコアとは IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものです。
加古川市	506	123.4	
全国（公立）	503	124.0	

3 IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド 縦軸：割合）



IRT スコアを、1～5の5段階に区切ったものです。
3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

学力がどのように分布しているかを示しています。

4 IRT バンド集計値（各 IRT バンドに占める生徒の割合）

	IRT バンド				
	1	2	3	4	5
加古川市	3.2	26.2	44.9	19.3	6.4
全国（公立）	4.2	27.3	42.0	20.3	6.2

IRT バンド集計値 3～5 の合計割合
加古川市：70.6
全国（公立）：68.5